PRESS RELEASE

報道機関配布資料

高崎市
TAKASAKI CITY

令和８年４月１０日

件名　令和８年度高崎市立美術館年間カレンダーについて

高崎市美術館・高崎市タワー美術館では、別紙カレンダーのとおり、本年度の展覧会を開催いたしますのでご案内申し上げます。
つきましては、取材ならびに広報にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【本件に関する問い合わせ】
総務部　文化課　高崎市美術館
電話：０２７‐３２４‐６１２５

EXHIBITION CALENDAR

※都合によりタイトル・日程・内容等を変更することがありますので、各美術館ホームページで最新情報をご確認の上ご来館ください。

高崎市タワー美術館 TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART

収蔵作品展 **物語る日本画**
—6つのテーマでめぐる絵画の世界

4月25日(土) ～ 6月28日(日)
休館日：4/27、5/7・11・18・25、6/1・8・15・22

絵画には、風景や人物だけでなく、物語や思想、時代背景といった"見えない物語"が描き込まれています。本展覧会では、そうした作品の奥に隠されたストーリーに光を当て、作品とともに背景やテーマにまつわる物語や歴史を紹介します。



中島千波《瀧桜》1987年　寄託作品

企画展 **鳥を愛でたい**

7月11日(土) ～ 9月27日(日)
休館日：7/13・21・27、8/3・10・12・17・24・31、9/7・14・24

身近な鳥や異国の鳥、優雅に羽ばたく姿、ちょこんとたたずむ姿—。鳥たちは、多くの画家に憧れや愛情をもって描かれてきました。本展覧会では、季節の風物とともに表現された、可愛らしく美しい鳥たちの世界をご紹介します。鳥の生態などの豆知識も交え、日本画に描かれた鳥たちとの出会いをお楽しみいただきます。



小室翠雲《奇花異鳥図》(左隻)1932年　寄託作品

企画展 **日本画の窓—旅する風景**

10月17日(土) ～ 12月20日(日)
休館日：10/19・26、11/2・4・9・16・24・30、12/7・14

絵は、どこか「窓」に似ています。画家が心を動かされ、独自の感性で切り取った情景。私たちはそれを鑑賞することで、外の世界や画家の心の中にある風景までも旅するような気分を味わうことができます。本展覧会では、風景を題材とした作品を中心に、その多彩なまなざしをご紹介します。日本画という窓から、新しい世界を覗いてみませんか？



小野竹喬《朝》1970-74年頃　寄託作品

開館25周年記念展 **吉祥百景**
—祝いのこころ、日本のかたち

2027年1月16日(土) ～ 3月22日(月・祝)
休館日：1/18・25、2/1・8・12・15・22・24、3/1・8・15

松竹梅や鶴亀など、幸福や長寿の願いをこめて縁起の良いモチーフが描かれた絵画を「吉祥画」といいます。本展覧会では2026年に開館25周年を迎えた高崎市タワー美術館の収蔵品の中から、選りすぐりのおめでたい作品を紹介いたします。古くから人々の祈りや美意識を映してきた日本の吉祥表現を、ぜひご覧ください。



横山大観《寿》1953年　高崎市タワー美術館蔵

高崎市美術館 TAKASAKI MUSEUM OF ART

収蔵作品展 **版画集ぜんぶ見せます！**
同時開催 **特集展示 小林正**

4月18日(土) ～ 6月21日(日)
休館日：4/20・27、5/7・11・18・25、6/1・8・15

高崎市美術館の収蔵する版画コレクションより、パブロ・ピカソの『闘牛』（26点）やマルク・シャガール『ポエム』（24点）など、ヨーロッパの作家が手がけた版画集を紹介します。点数の多い版画集は数点を選んで展示することが多いのですが、「ぜんぶ見たい」という声に応えて、本展覧会では各版画集の全作品を展示します。あわせて、ほぼ四半世紀にわたって独立展に出品を続けてきた高崎市出身の画家、小林正（1949-）の絵画作品を特集展示し、その足跡をたどります。



マルク・シャガール『ポエム』より
1968年刊　高崎市美術館蔵
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 X0478

企画展 **美しいユートピア**
理想の地を夢みた近代日本の群像

7月18日(土) ～ 9月23日(水・祝)
休館日：7/21・27、8/3・10・12・17・24・31、9/7・14

19世紀英国の作家ウィリアム・モリスは、工芸運動「アーツ・アンド・クラフツ」で「ユートピア＝理想の地」をめざします。その影響を受けた20世紀日本では芸術、工芸、建築デザインと暮らしの融合が図られました。本展覧会では美しい暮らしを求めた竹久夢二、宮沢賢治、松本竣介などによる芸術運動や作品から同時代の理想を振り返り、それぞれの「ユートピア」をもとに、未来を思い描く方法を探ります。

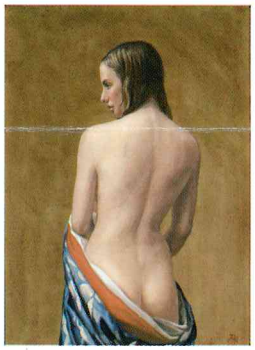


瀧澤眞弓《日本農民美術研究所》1923年撮影
上田市立美術館蔵

収蔵作品展 **Human Figure 人を見つめ、かたちづくる**

10月10日(土) ～ 12月13日(日)
休館日：10/13・19・26、11/2・4・9・16・24・30、12/7

人物を対象として描く、造形するという行為は、美術の道を志した者が最初期から取り組む基礎訓練のひとつであり、多くの芸術家を生涯惹きつけてきたテーマです。本展覧会では「人間を見つめる」「ヌード」「芸術家とモデル」「愛するものへのまなざし」などさまざまなテーマにより、多彩な人物表現を展観します。あわせて、身近な人の衣服などをモチーフとして人の記憶や時間を陶で表現する山本優美（1983-）を紹介します。



山名將夫《裸婦立像》2007年頃
高崎市美術館蔵

開館35周年記念展 **ザ・ベスト・オブ・高崎市美術館**

2027年1月9日(土) ～ 3月22日(月・祝)
休館日：1/12・18・25、2/1・8・12・15・22・24、3/1・8・15

1991年7月に開館し、2026年に開館35周年を迎えた高崎市美術館のベストコレクション展を開催します。これまでの高崎市美術館の歩みを振り返るとともに、収集されてきた1600点を超える多彩なコレクションの中から、厳選した作品を紹介します。さらに、来館者による出品作品の人気投票をおこない、ベスト10を決定します。



山口薫《観音の立つ山》1959年　高崎市美術館蔵

Exhibition Calendar | TAKASAKI MUSEUM OF ART

ロイ・リクテンスタイン《泣く少女》1963年　高崎市美術館蔵
開館35周年記念展「ヤ・ベスト・タ・高崎市美術館」出品作品
© Estate of Roy Lichtenstein, New York & JASPAR, Tokyo, 2026 X0478

高崎市美術館
TAKASAKI MUSEUM OF ART

展覧会カレンダー 2026

2026.4 — 2027.3

美術館利用のご案内　各美術館ホームページで最新情報をご確認の上ご来館ください。

開館時間　午前10時～午後6時　金曜日のみ午前10時～午後8時
（入館はいずれも閉館30分前まで）
＊旧井上房一郎邸
邸内：午前10時～11時　午後2時～4時
庭園：3月～11月　午前10時～午後6時
12月～2月　午前10時～午後5時
（入園は閉園30分前まで）

休 館 日　月曜日（祝日は開館し、翌平日休館）、祝日の翌平日、
展示替期間、年末年始（12/28～1/4）

観 覧 料　展覧会により異なります。
＊20名以上は団体割引料金となります。
＊身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、及び付き添いの方1名は無料となります。手帳または障害者手帳アプリ「ミライロID」をご提示ください。
＊65歳以上の方、中学生以下は無料となります。マイナンバーカード、運転免許証、学生証など年齢を証明できるものをご提示ください。
＊旧井上房一郎邸の観覧料は高崎市美術館観覧料に含まれます。

※P駅前駐車場、LABI1高崎は両館共通

高崎市美術館
交通案内／JR高崎駅西口より徒歩3分
駐 車 場／駅前駐車場、西口サウスパーク、サウスパーク第2、LABI1高崎をご利用ください。

高崎市タワー美術館
交通案内／JR高崎駅東口より徒歩2分（駅とデッキで直結）
駐 車 場／LABI1高崎、タイムズ高崎駅東口駐車場、ココパルク800、イーストパーク、駅前駐車場（西口）をご利用ください。

＊美術館受付で駐車券を提示等していただくと1時間の無料駐車券をお渡しいたします。

高崎市美術館・旧井上房一郎邸
〒370-0849 群馬県高崎市八島町110-27
TEL.027-324-6125／FAX.027-324-6126

高崎市タワー美術館
〒370-0841 群馬県高崎市栄町3-23高崎タワー21
TEL.027-330-3773／FAX.027-321-7277

Exhibition Calendar | TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART

松本哲男《富嶽》1992年　寄託作品　開館25周年記念展「古祥百景—祝いのこころ、日本のかたち」出品作品

高崎市タワー美術館
TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART

展覧会カレンダー 2026

2026.4 — 2027.3